

# 1. 2021 年度 健康診断事業の実施状況

2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までに実施した健康診断の受診者総数は 922,666 人であり、今年度は対前年度比 105.9%と健診実施時の新型コロナウイルス感染症対策が徹底されたことなどの理由により増加に転じた。

また、定期健康診断の受診者数は 348,701 人で前年より 8,684 人（前年比 2.6%）の増加であった。（表 1）

表 1：健診種目別件数

	事業所数	健診人数
定期健診	24,332	348,701
特殊健診	9,594	197,086
生活習慣病健診	31,051	376,879
合計	64,977	922,666

2021 年度の健康診断種目別割合は、事業所数では生活習慣病健診 47.8%、定期健診 37.4%、特殊健診 14.8%となっている。（図 1-1）

一方、健診人員で見ると、生活習慣病健診 40.8%、定期健診 37.8%、特殊健診 21.4%であり、生活習慣病健診、定期健診は共に約 4 割前後の受診であった。（図 1-2）

\*各図表の構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100%とはならない場合があります。

図 1-1：健診種目別実施事業所数割合

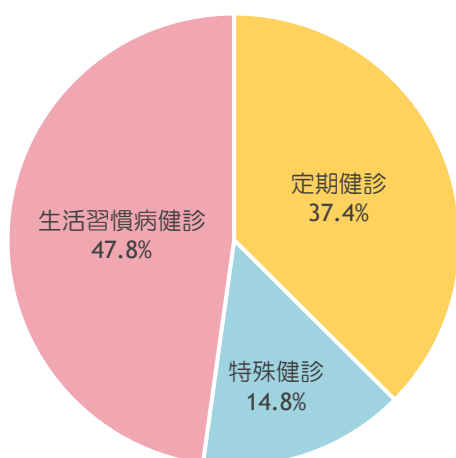
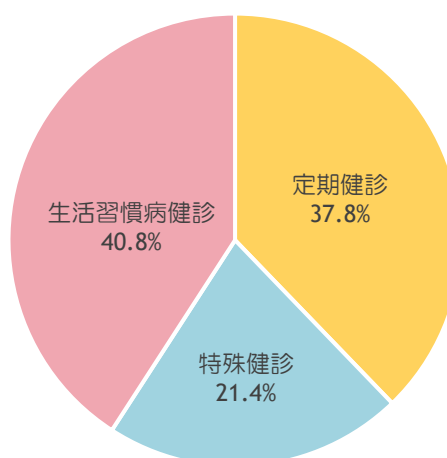


図 1-2：健診種目別実施事業所健診人数割合



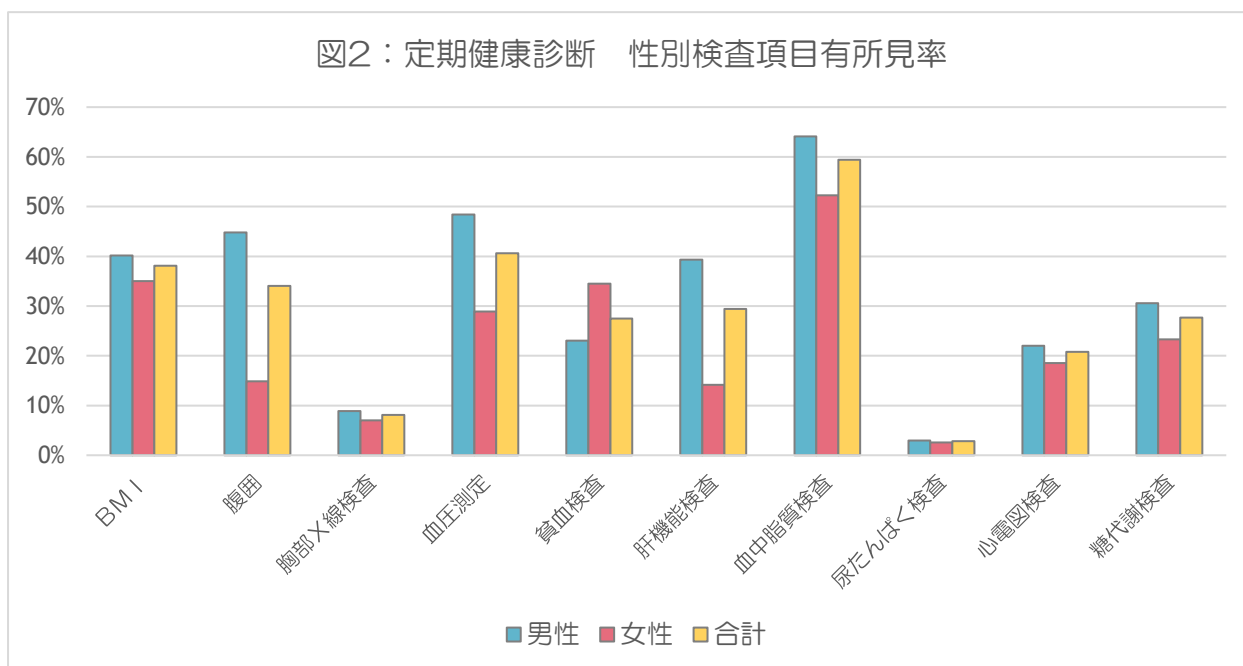
## 2. 2021 年度 健診項目別有所見率について

労働安全衛生法における定期健康診断の必須項目である身体検査（BMI）、血圧測定、尿検査等の実施者が多く、ほかの健診項目別の実施状況においては（表 2-1、2-2）の通りである。

性別、健診項目別に有所見率をみると有所見の率が最も高い健診項目は血中脂質検査で 59.4%であり、次いで血圧測定 40.6%であった。（図 2）

	受診者	有所見者	有所見率
BMI	346,721	132,167	38.1%
腹囲	300,372	102,227	34.0%
胸部 X 線検査	276,634	22,518	8.1%
血圧測定	348,232	141,468	40.6%
貧血検査	303,829	83,536	27.5%
肝機能検査	309,136	90,846	29.4%
血中脂質検査	306,037	181,897	59.4%
尿たんぱく検査	350,079	9,811	2.8%
心電図検査	275,196	57,225	20.8%
糖代謝検査	343,673	95,114	27.7%

	男性	女性	合計
BMI	83,778	48,389	132,167
腹囲	86,090	16,137	102,227
胸部 X 線検査	15,037	7,481	22,518
血圧測定	101,474	39,994	141,468
貧血検査	42,709	40,827	83,536
肝機能検査	73,483	17,363	90,846
血中脂質検査	118,543	63,354	181,897
尿たんぱく検査	6,275	3,536	9,811
心電図検査	39,110	18,115	57,225
糖代謝検査	63,239	31,875	95,114

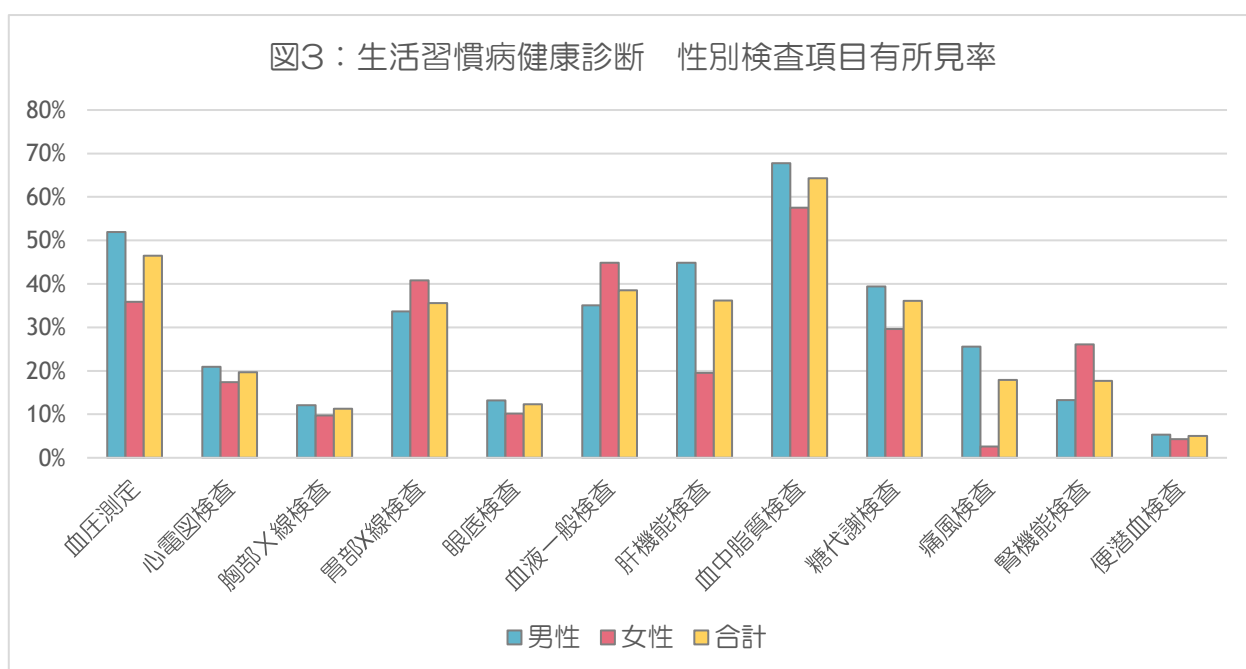


また、生活習慣病健康診断の性別、健診項目別に有所見率をみると、有所見の率が最も高い健診項目は血中脂質検査で64.3%、次いで血圧測定の46.5%であった。（表3-1、3-2）

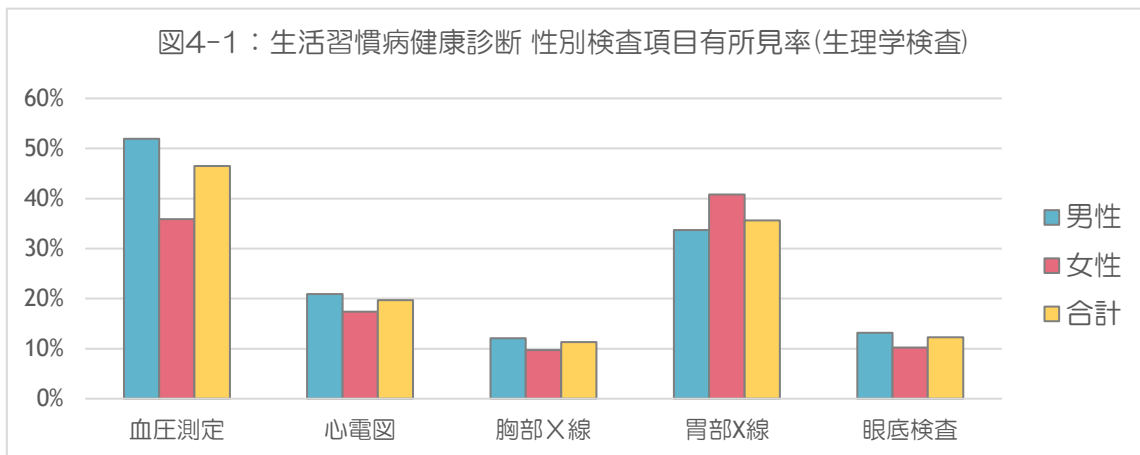
性別において男女ともに高いのは血中脂質検査（男性67.8%、女性57.5%）であり、男性で高いのは血圧測定（男性51.9%、女性35.9%）、肝機能検査（男性44.9%、女性19.5%）、痛風検査（男性25.6%、女性2.6%）などであり、逆に女性が高いのは腎機能検査（男性13.3%、女性26.1%）であった。（図3）

	受診者	有所見者	有所見率
血圧測定	363,959	169,078	46.5%
心電図検査	363,544	71,711	19.7%
胸部X線検査	361,519	40,780	11.3%
胃部X線検査	119,649	42,614	35.6%
眼底検査	89,475	10,973	12.3%
血液一般検査	362,654	139,554	38.5%
肝機能検査	363,245	131,562	36.2%
血中脂質検査	363,090	233,405	64.3%
糖代謝検査	363,904	131,372	36.1%
痛風検査	295,203	52,730	17.9%
腎機能検査	361,363	63,801	17.7%
便潜血検査	228,801	11,482	5.0%

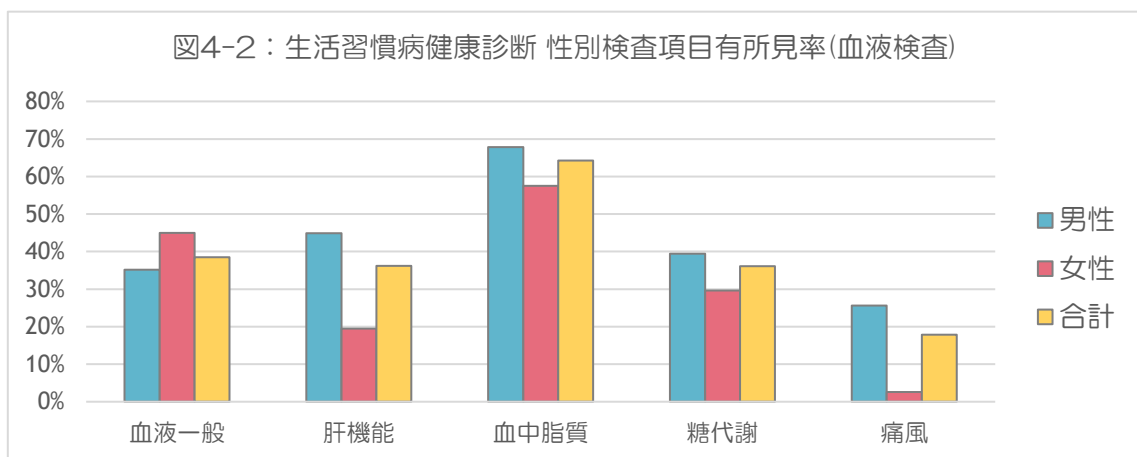
	男性	女性	合計
血圧測定	124,448	44,630	169,078
心電図検査	50,455	21,256	71,711
胸部X線検査	29,046	11,734	40,780
胃部X線検査	29,218	13,396	42,614
眼底検査	8,109	2,864	10,973
血液一般検査	83,876	55,678	139,554
肝機能検査	107,418	24,144	131,562
血中脂質検査	162,051	71,354	233,405
糖代謝検査	94,525	36,847	131,372
痛風検査	50,175	2,555	52,730
腎機能検査	31,884	31,917	63,801
便潜血検査	8,388	3,094	11,482



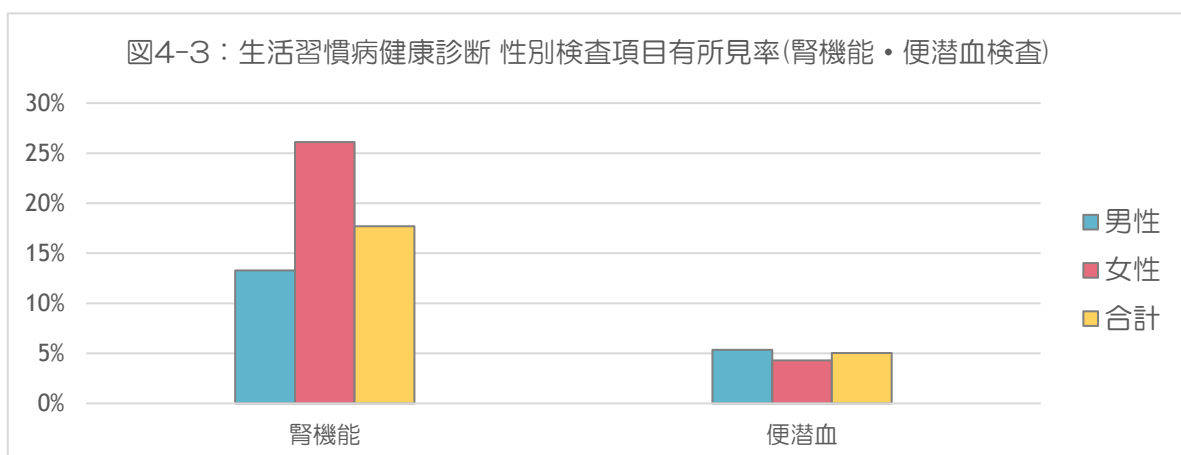
生活習慣病健康診断において、生理学検査で有所見率が最も高いのは血圧測定（男性 51.9%、女性 35.9%）であり、次いで高いものは胃部X線検査（男性 33.7%、女性 40.8%）であった。（図 4-1）



血液検査で有所見率が最も高いのは男女ともに血中脂質検査(男性 67.8%、女性 57.5%)であり、過半数を占めている。次いで高いものは男性で肝機能検査（44.9%）、女性で血液検査一般（44.9%）であった。（図 4-2）



腎機能・便潜血検査では、有所見率は腎機能検査が高く、男性 13.3%、女性 26.1%であった。女性に関しては、男性の約 2 倍と有所見率に大きく差が見られた。（図 4-3）



### 3. 2021 年 作業環境測定の実施状況

2021 年に作業環境測定を実施した事業場の総数は、987 事業場で首都圏を中心に北海道から大阪まで、1 都 1 道 1 府 20 県に及んでいる。作業環境測定を実施した単位作業場所の延べ数は、6,944 事業場所で、前年と比較すると 134 単位作業場所の増加となった。実施項目別の延べ場所数については、表 4 に示す通りである。

表 4：作業環境測定実施項目別の延べ作業場所数

	有機溶剤	粉じん (石綿を除く)	石綿	非金属類	金属類 (鉛を除く)	鉛	騒音
合計	2,854	1,149	0	2,063	382	18	478
対前年増減数	157	▲ 15	0	▲ 20	0	2	10

実施項目別の状況では、有機溶剤が全体の 41.1%、非金属類が 29.7%、粉じんが 16.5%で、この 3 項目を合計すると実施全単位作業場所の約 88%を占めている。(図 5)

